

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース

v o 1.45

ITAMI大好き!

2014年5月

このチラシは、伊丹市議会議員“相崎佐和子”が、市政情報などを届けすべく発行しているニュース紙です。

毎月発行しており、ポストヤング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。



相崎佐和子

市民の声から ~こんなお声いただきました~

「相崎さんはよく“市民からの要望に対応している”と言っているが、一体どんな要望があるのか？」…そんな質問を受けて、以前この「ITAMI大好き！」で、いただいたお声をご紹介します。

第1弾では「信号をつけてほしい」「保育所に入りたい」などについてご紹介。今回は第2弾として、最近いただいたお声をピックアップしてをご紹介します。

■公共施設の予約が取れない！

“スポーツ施設・文化施設など、いっぱい予約が取れない！”。時々いただくお声です。ご活用いただいているのは有難い限りですが、財政が厳しい折、施設を増やすのは容易ではないところ。施設によっては、予約ルールを再検証するのがベターと見受けられるところも。引き続き取り組んでいきます。

■子どものクラスが学級崩壊！

保護者からの深刻なお声に、こちら胸が痛みます。学級崩壊の要因はケースバイケースで様々。学校や教育委員会と連携を取りながら、丁寧に原因を探り、対応に当たるようにしています。私が動いたら解決する類の問題ではないですが、良い方向に進むよう一緒に動いていきます。

■バス停にゴミ袋が！

市内の某バス停に、どなたかがゴミ袋を取り付けられました。おそらく「ここにゴミを捨てていいですよ」という善意からだと思われます。しかし残念なことに、それがゴミ箱になり、揚句にカラスが荒らす結果に。付近の住民の方から連絡をいただき、市バス側で“ゴミ袋などは置かないでください”という貼り紙をすることにしました。それ以降はゴミ袋が置かれることはなく、問題は解決したのですが、設置された方のお気持ちが気になり、善意というのは難しいものだった一件でした。

■バス停にベンチを！

バス停と言えば、ベンチを設置してほしいとお声も伺います。お気持ちとてもよくわかります。ただ、ベンチを設置するには一定の歩道幅が必要ゆえ、規定上設置できないケースも。伊丹市交通局では、一定幅があるバス停には設置する、一定幅がなくとも細い新型ベンチを設置するなど進めているところです。

■防災マンションの認定を！

近隣の西宮市では防災マンションの認定(防災設備等を備えたマンションを市が認定する)を始めたそう。「伊丹市でも取り入れては？」とお声をいただきました。内陸部にある伊丹市は津波被害が想定されないためか、防災意識やリスク管理意識がやや低いと私は思っています。折を見て研究提案していきます。

その他にも種々お声をいただきます。すべてがすぐ実現できるわけではなく、中には時間がかかる場合、ご要望にお応えできかねる場合もございます。ただ、私のモットーは「実際に生活している住民の声が、一番基本で一番大事」です。たとえ小さな案件であっても、1つ1つに伊丹市のひいては国の課題が潜んでいます。その案件の解決を図るとともに、そこから浮かびあがる伊丹市の課題を抽出把握し、より住みやすい街づくりに活かしてまいります。